

神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL:045-663-4061 FAX:045-663-4062
メール:nenkinkanagawa@nifty.com

6月5日現勢 組合員 9,556名
機関紙 5,889部
年金改善署名 69,931筆



神奈川県版 第260号 2010年6月15日

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20協立第3ビル
TEL.03(5978)2751 FAX.03(5978)2777
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円
昭和57年6月30日第三種郵便物認可



TV取材に宣伝のチャンスと張り切る

仲間を増やして世論を広げる 後期高齢者医療制度の即時廃止 最低保障年金制度など年金の改革

7月中の投票で参議院選挙が行われます。年金者組合は後期高齢者医療制度の廃止や消えた年金の回復、最低保障年金の実現、消費税増税反対などの要求と共に、目減りした年金を生活実態に合わせ引き上げるの要求実現を迫ってきました。

昨年の総選挙で民主党中心の連立政権が誕生しましたが、鳩山政権はわずか8ヶ月で崩壊しました。沖縄県民の願いよりも、米国重視の普天間基地問題、政治と裏金のほか、高齢者をはじめ国民の期待を裏切り、公約を反故にしてきた結果です。年金者組合は要求実現に向けて、議員への要請

参議院議員選挙は要求実現のチャンス

県本部執行委員長 田島 茂

行動や100万署名、集会、デモなど全力で取り組んで来ましたが実現に

至っていません。年毎に強まる高齢者いじめを跳ね返すには、更に運動を飛躍的に高めて国民世論を巻き起こすこと。そし

て私たちの要求をはじめ、真に国民の暮らしと平和を守る政治を実現することです。目前に迫った参議院議員選挙は変革のチャンスです。各党派の公約をしっかりと吟味し、裏切り、悪政ノリの政治を実現させましょう。



裏切りは許さない 怒りや激励の声が続々 関内駅前で昼休み署名

6月1日の昼休み、県本部の田島委員長をはじめ、本部の役員が関内駅前で行いました。わずか40分ほどの行動でしたが、通行人が次々に署名に応じ約40筆に。



揃って関内駅南口で100万署名を行いました。わずか40分ほどの行動でしたが、通行人が次々に署名に応じ約40筆に。すぐにはやりませんが、政府をしっかりと追及してください。と怒りや激励が多数寄せられました。

2月に支部主催の新人会員歓迎会を開催したときに、比較的若い層の意見交換が活発に行われました。それなら経験豊かな大先輩の声を聞く機会も持たたいねとの声も寄せられ、今年傘寿(80歳)を迎える人のお年寄りが集まって、思い出話や、いまの世の中に対する意見など話の花を咲かせる事にしました。

会の名前も「傘談会」と決まり、元気の良い話で、支部の活動も三段跳びのように飛躍させたいとのねらいも込められました。

(横浜泉支部 久保田雅雄)

大先輩が おねも言ひせ 傘談会で元気に語る

横浜泉支部が5月26日「傘談会」という名の懇談会が開かれました。2月に支部主催の新人会員歓迎会を開催したときに、比較的若い層の意見交換が活発に行われました。それなら経験豊かな大先輩の声を聞く機会も持たたいねとの声も寄せられ、今年傘寿(80歳)を迎える人のお年寄りが集まって、思い出話や、いまの世の中に対する意見など話の花を咲かせる事にしました。

署名を通して国際交流 テレビの取材で舞い上がる 金沢支部 斎木美代子

私たちは自由の女神で署名活動をやり、タクシーでハマーショルド広場へ。ブルーの地にお魚をあしらった核廃絶を求める横断幕をさっと出した。テレビカメラを肩に担ぎ、マイクを持った外国のテレビ局の人が私たちを撮影しにやってきた。英語が堪能な良子さんが核廃絶の意義を熱弁。私たちはすっかり舞い上がった。それから回りにいる金髪碧眼の女性や男性に笑顔でどんどん語りかけ、プレゼントを渡し、ツーショットで国際交流。ナント楽しいニューヨークだったろう。

名物チンドンが 華やかに出演

組織率全国トップの愛川が総会
5月15日、愛川年金者の会第11回定期総会が愛川町文化会館で開催され、95人の参加で会場はいっぱい。後方には組合員の手芸など力作が並べられて華やかな雰囲気。総会では愛川町加藤光男民政部長や労組代表、近隣支部から祝辞が述べられました。

活動報告ではサークル活動を軸とした仲間づく



チンドンの熱演にヤンヤの拍手

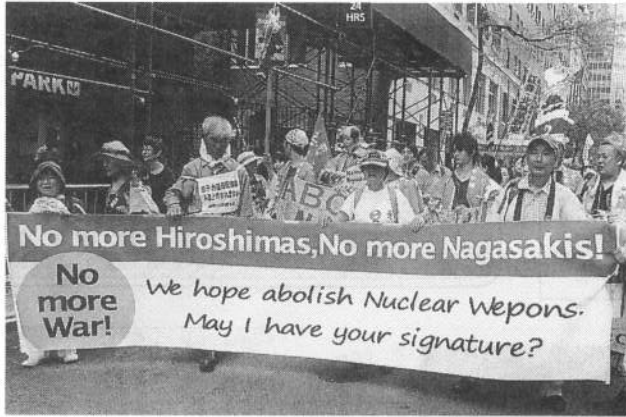
いる地元「ハーモニカグループ「ザ・フー」の演奏にみんなうっとり。すばらしいふれあいの総会になりました。

(愛川・菊池清介)

対話の英語はノーでも核廃絶署名はYESで達成

県本部書記長 土志田公佳

5月2日、ニューヨークのど真ん中で行われた「核兵器のない世界のための国際行動デー」に、戸塚支部から託された寄せ書き「武田信子さんの



NYの街はどこでもノーモア広島・長崎

思いをニューヨークへ「核のない世界を」を掲げてパレードしました。この国連本部までのパレードには1万人以上が参加。参加者は思い思いの衣装、幟、風船、プラカード、鉦や太鼓、各種楽器、踊りなどで、それぞれアピールします。「こんなに多くの国

活動を行ないました。英語は話せません。ただ大声で「プリーズ、サイン」「ノーモア、ヒロシマ、ナガサキ、ヒバクシャ」と叫びました。中年の女性が話しかけられたがわからない。英語で書かれた署名用紙を指差し、全部読んで署名してくれました。こうして3日間ノルマの50筆を果たすことができました。

5月3日、公開国際シンポジウムに渡米中の志位共産党委員長と一緒に参加しました。日本から持参した約

組合のサークルを広くPR

旭支部が体験お楽しみ会

5月15日(日)、仲間作りの一環として「サークル体験、お楽しみ会」を開きました。

この催しは旭支部女性の会のアイデアを基にして、執行委員会も検討を加えました。各サークルは会員を増やす目的で魅力を紹介します。またミニバザー、くじ引き、お茶コーナーも設けました。

仲間作りも、役員が自分の友人・知人を誘うだけでは限りがあり、支部として今までに接点がなかった人にも呼びかけることを主に考えました。



サークルの内容を紹介

会場周辺に4000枚のチラシを配布。また当日も会場近くで呼び込みのチラシも通行人に配布しました。会場の準備も整いましたが、さて何人の人が会場に参加してくれるのか心配でした。努力が実ったと言いますか、役員以外の方が35人参加してくれ、その場で入会者が2人。ほかにも申込書をもらって行かれた人、連絡先を知らせていかれた人がいました。文化展をかねてから開催したいとの希望はありましたが、ミニ文化展的な作品展示も行いました。仲間作りも楽しみながら行う、そんな企画を初めて行い成功したかなとの気持ちです。2回目は会場を変え6月に行います。(旭支部 北村 勇)

”土恋”畑友の会が人気

根を広げる茅ヶ崎・寒川

「ほら、初収穫のラディッシュだよ」と赤小カブを見せ、自慢げな長老。 「わたしコマツナと水菜を収穫しました。おいしかったですよ」のYさん。

芸文者年金川奈神

- (川柳) 旭支部 本間鈍根花 米軍の基地の仕分は出来ないの 旭支部 毛利やすひこ 海兵基地近隣諸国を威嚇する
- (俳句) 平塚支部 坪井 稔恭 尺蠖や石の大きき調査中 平塚支部 高橋 福松 息切れの長き石段汗しとど 平塚支部 寺田 公明 柿若葉テニスコートに声弾む 横浜緑支部 吉田 一夫 ひと降り雨に敢えなし沙羅の首
- 川崎麻生支部 阿部 和子 亡夫とさん歩したきやみどりのうみで 秦野支部 小島 宏 山海の親の思いの鯉幟 秦野支部 緒方 忠孝 翡翠や水面ひとさしもどり枝 秦野支部 山下 正二 一つの日か相まみえんや多喜二祭 この夏は行進最後先頭に 秦野支部 福岡まもる 宝前の実のさくら慎ましく 金沢支部 山田 幸雄 初鯉男の句の古希となる 磯子支部 高橋春風子

からだに良いこと、安心安全の野菜を自作で、合わせて新鮮食材を仲間にも届け、ともに健康に寄与することがサークルのモットーです。 昨年11月に発足してから今年5月の畑バーベキュー大会まで、借地の仲間や、耕地整備、区画の配分、初参加の方々への助言など、支援を誠実に続けて会員は33人を越えました。「土恋(どっこい)畑友の会」を始めて、組合員も6人増えました。健康・食・農体験の場



農作業を終えての一杯が楽しみ

力の源泉は女性パワー

サークルも楽しい厚木女性の会

厚木支部では4月8日、5月に入って9人の新入会員を迎えています。仲間増やしの活動を総力を挙げて取り組んだこともあり、やっばり女性の会のパワーは強いです。人と人とのつながりが広くて強い。「友が友

かっています。「生き生き作品展」や「歌声喫茶」のような、門戸を大きく広げた「誰もが参加できるしゃべり場」や「楽しく過ごせる活動の場」を提供するために、女性の会世話人さんの責任感と心意気に期待をしています。参加するだけで生きる力になるような年金者組合をめざしてがんばりましょう。(厚木女性の会 森屋むつみ)

10月28日 さわやか女性のつどい

各支部の演目練習に熱気が

「さわやか女性のつどい」に向けて各支部の演目がほぼ決まりました。「つどい」の目標はすべての支部が参加すること。そのために出演時間が限られます。そこで合同できるところを話し合おうということになりました。横浜地域では単独出演できない8支部に参加してもらったために、6支部の代表が検討し、工夫をこらしたコーラスをしよ



川崎の7支部は「合同で楽しい舞台に」という

始まっています。

「ほら、初収穫のラディッシュだよ」と赤小カブを見せ、自慢げな長老。 「わたしコマツナと水菜を収穫しました。おいしかったですよ」のYさん。